

シフトポジションインジケータ
SHIFT POSITION INDICATOR (Y22)
【'05～セロー250 (DG11J/DG17J)】

車種専用ハーネスキット
車種専用キット共通

取扱説明書

セット内容

- 専用ハーネス(HS-Y22) ●PG-220N (4Pカプラー付) ●PG-220用両面テープ
- バーハンドルステー (SPI-BS01) ●タイラップ(142mm)x5本
- SPI-Y22車種専用キットはシフトポジションインジケータ本体が付属しております。
- HS-Y22ハーネスキットにはシフトポジションインジケータ本体は含まれません。
別売りのSPI-110シフトポジションインジケータ本体(No.11014またはNo.11050)が必要です。

注意事項

- 本説明書はセロー250 ('05)に対応する内容で記載しております。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してくだ

【取り付け作業の準備】

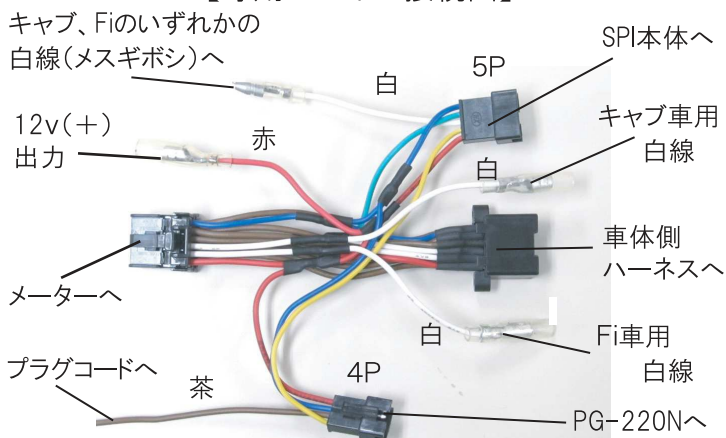
※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①ヘッドライトカウルを外します。
- ②12Pカプラーをメーターから取り外します。



12Pカプラー

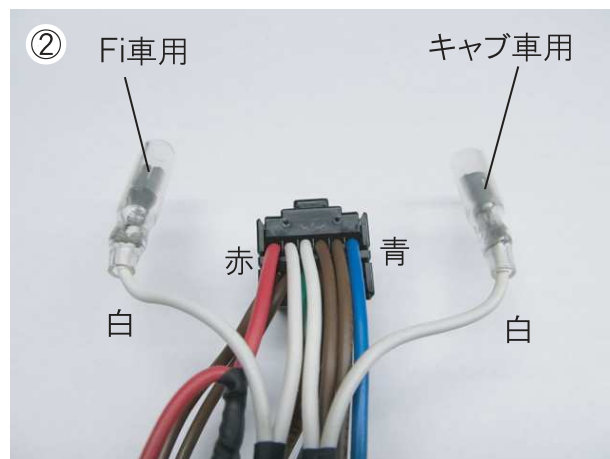
【専用ハーネス接続図】



※12V(+)出力サービス端子は、弊社【盗難警報機CS-550】の
接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。

【専用ハーネスの取り付け】

- ①専用ハーネスをメーターと車体側ハーネスとの間に
割り込ませます。
- ②専用ハーネス5Pカプラーの白線(オスギボシ)を専用ハーネス
12Pカプラーの白線(メスギボシ)に接続します。

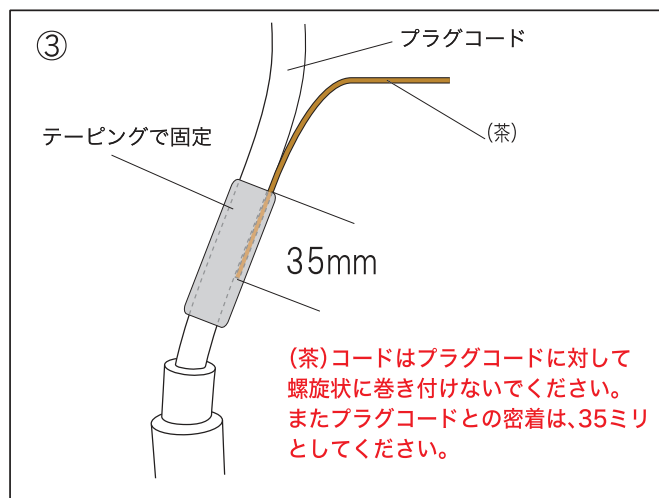


※白線の接続はキャブレター車とフューエルインジェクション(Fi)車
のいずれかを選択して行います。

上の画像の専用ハーネスのメーターへ接続する側のカプラー
から出ている白線の左側が【Fi車】、右側が【キャブ車】です。

- ③車体左側タンク下のプラグコードに、専用ハーネスの茶色線を
取り付けます。(下の画像③参照)

※茶色線はフレームや車体側ハーネスなどに沿わせて
タイラップで固定してください。



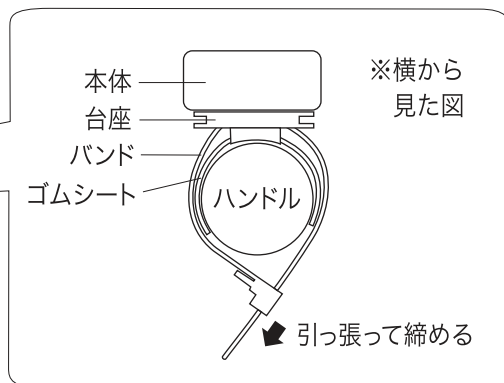
(茶)コードはプラグコードに対して
螺旋状に巻き付けしないでください。
またプラグコードとの密着は、35ミリ
としてください。

- ④PG-220Nをメーターステーにタイラップで取り付けます。
- ⑤PG-220Nの4Pカプラーと専用ハーネスを接続します。



【SPI本体の取り付け】

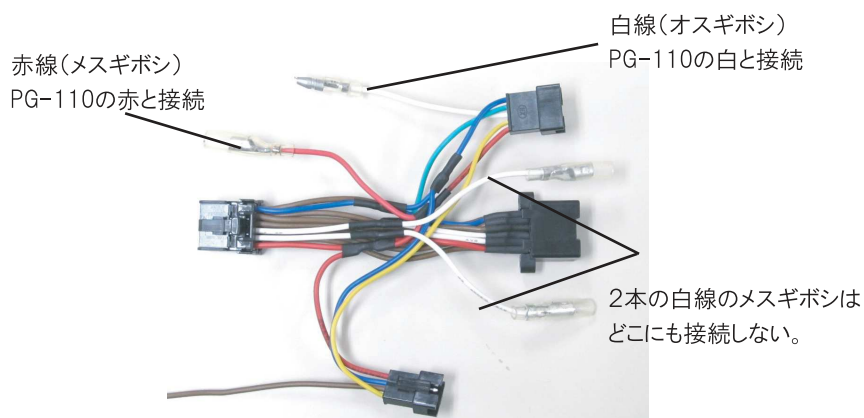
- ①下の画像を参考に付属品のハンドルステーを取り付けます。
- ②SPI本体をハンドルステーに両面テープを使って貼り付けます。
※ 後で、ギアポジションの登録及び、シフトアップインジケーターの設定を行いますのでSPI本体は仮付けにしてください。
- 【車種専用キットはシフトポジションデータが登録されております。】
③SPI本体のコード専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。
※ ハンドルを左右に切った際、SPI本体のコードに無理な力が加わらないよう取り回し、SPI本体のコードは車体側ハーネスなどにタイラップで固定してください。
- ④ヘッドライトカウルを元に戻します。



ギアポジションの登録、シフトアップインジケーター登録、及びエラー表示の詳細はシフトポジションインジケーターの取扱説明書をご覧ください

（スピード信号エラーが出てしまう場合）

※車両のスピードメーターセンサーの劣化や個体差などが原因により、車両側のスピードメーターが正常に動作していても、スピード信号が認識されていないエラー表示「S」の点滅が起こる事があります。この場合の対処方法と致しまして、別売りのNo.11015【PG-110】を併用します。車両側のスピード信号を使わずにPG-110で発生させるスピード信号に替える事で正常に動作致します。PG-110を併用の際はギアポジション設定を行ってください。

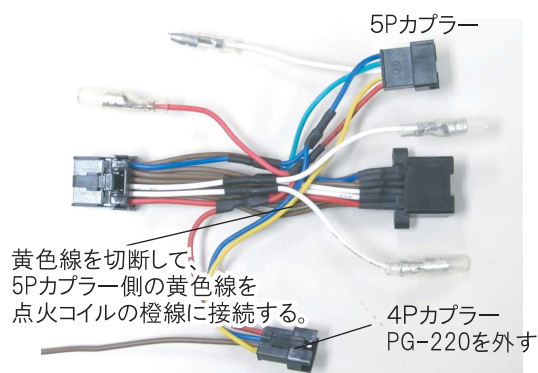


PG-110センサーの取付け例

PG-110に付属するアルミ板を左の画像の様に2か所曲げ、プロテクターのボルトと共締めし、ディスクローターにマグネットを3か所貼り付けます。マグネットはボルトを目安に等間隔に貼り付けます。

（エンジン信号エラーが出てしまう場合）

※'08以降のフューエルインジェクション仕様の車両で社外のプラグコードに変更されていたり、PG-220Nのピックアップの反応が悪い場合、エンジン回転信号のエラー「R」点滅表示や、走行中どのギアでも「1」しか出ない場合、PG-220Nを使用せずに、点火コイルからエンジン回転信号をピックアップする事が可能です。



※'07以前のキャブレター車ではこの方法是对应致しません。